

歩こう！きそふくしまプロジェクト 木曾福島の夜を満喫、 ナイトツアー開催事業

取組に至る背景・事業の目的

滞在型ではなく通過型の観光客が増加する中、宿泊客に対して昼間には見られない夜の町並みと「土地の人との交流」という付加価値を提供するとともに、歴史という観点からの福島宿の案内を行い「学び」による宿泊客の満足度を向上させ、滞在型のリピーター増を目的として「歴史散策ナイトツアー」の実施に取組んだ。

事業内容

- 旅館組合とボランティアガイドが協力し合い、宿泊者を対象とした小さなオプションツアー「歴史散策ナイトツアー：夜さんぽ木曾福島」を企画し、夜の福島宿の魅力を伝える案内を実施した。町並・歴史・伝統行事等を紹介し、「落ち着いた、大人のもうひと遊び」を宿泊者へ提供した。
- 当日チェックイン後でも参加可能な体制をとった。
- 提灯、拡声器を整備し雰囲気醸成と安全対策を行った。
- PR強化のため募集チラシを製作した。
- 約3ヶ月間で23回開催し、参加者は延べ213名となった。



【ナイトツアー開催の様子】

事業効果

- はじめての試みであったが、関係者が連携しあうことで一体感が醸成された。また、フロントでのお声掛けをはじめ、お客様と旅館スタッフの間に話題と交流を提供することが出来た。
- 当日の申し込みで気軽に参加することができ、昼とは全く違う表情を持つ夜の中山道宿場町の雰囲気が味わえることから、参加者から好評を得た。また、複数の宿泊施設からお客様が集まることによりお客様同士の交流を促すことができ、より充実した思い出を提供できる結果となった。
- 案内人から地元ならではの情報を提供することが可能となり、翌日の観光ルートのみならず、次回の観光につなぐ情報を紹介することができ、リピーター獲得への期待が高まった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- お客様の安全を確保するため、地域住民へ街路灯の動作点検および点灯確認への協力を依頼したほか、現地研修を複数回実施し、ルート確認と危険個所の点検を行った。また、ルート上にあるまつり会館の夜間開館、案内人による木曾節の披露など、アクセントのある案内に心がけた。
- お客様への周知を図るため、チラシをエレベーター室および客室へ配置したほか、チェックイン時および入室後にツアーのご紹介をするなど、各旅館の創意工夫にて積極的に対応いただいた。
- 参加者へ木曾の水源水をノベルティとして配布することにより、満足度の向上を図るとともに地域特産品の一つを紹介した。また、案内ルート上にある和菓子や地酒などの店舗紹介も行き、経済効果の波及に期待した。
- 夜の散策案内であることから高齢の案内人への負担が大きく、案内人の確保に苦慮した。若手案内人の育成が今後の課題。
- 秋冬期間での実施だけでなく、桜の開花期において別ルートの案内企画をするなど、より充実したナイトツアーの継続実施を目指す。

【選定のポイント】

「土地の人との交流」という付加価値の提供は、観光客の満足度アップにつながり、今後も継続して実施することでリピーターの獲得と観光客の増加にもつながるものと期待できる。

団体名 (株)まちづくり木曾福島(木曾町)
連絡先 電話 0264-22-2766
ホームページ <http://www.nanchara.net>
メールアドレス tmokiso@mx2.avis.ne.jp

事業タイプ ソフト事業
事業費 476,605円
支援金額 370,000円